

令和5年度 水道事業会計予算のあらまし

■ 業務の予定量

	令和5年度	前年度比
給水戸数	12万8,300 戸	1,000 戸
年間総給水量	2,610万0,000 m ³	△100,000 m ³
一日平均給水量	7万1,311 m ³	△470 m ³

■ 収益的収支

収益的収支とは、企業の経営活動に伴って発生する収入と、その年度の収入に対応する支出をいいます。

主な収益的収入として水道料金があります。

令和5年度水道事業会計予算では水道料金収入39億9,410万円、受託工事収益754万円、加入分担金などその他の収入6億708万円を合わせた46億872万円（前年度比0.9パーセント減）を予定しています。

収益的支出は、水道水を皆さんの家庭に届けるために必要となる費用です。

県の浄水場から水道水を買入れる受水費、配水ポンプなどの機械を動かすための動力費、機械や水道管の減価償却費などで構成され、47億2,270万円（前年度比5.0パーセント増）を予定しています。予算内容の見直しや圧縮などの合理化を進めてまいりましたが、電力料金の高騰に伴う動力費の増の影響が大きく、1億1,398万円を純損失（消費税含む）として見込んでいます。

■ 資本的収支

資本的収支とは、企業の設備投資に伴って発生する収入と支出をいいます。

長期的な安定給水と地震等の災害に強い水道施設の整備を図り、配水管網の整備や浄水場施設の更新工事を推進するための収入と支出です。

令和5年度予算では、資本的収入として、企業債の借入れ、他企業などに依頼された水道管の布設替え工事代金の負担金など9億5,238万円（前年度比21.6パーセント減）を予定しています。

資本的支出は、浄配水場や配水管の改良工事費などが29億1,401万円、借入金の返済が1億9,448万円で、総額31億849万円（前年度比8.7パーセント増）を予定しています。

なお、収入に対する支出の不足額は内部留保資金などで補います。

■ 水道事業会計予算額の推移

（単位：万円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益的収入	46億3,746	46億6,962	46億6,681	46億4,844	46億872
収益的支出	44億188	44億6,642	44億7,416	44億9,851	47億2,270
資本的収入	5億7,018	3億7,758	4億1,764	12億1,452	9億5,238
資本的支出	30億5,182	19億6,046	24億6,986	28億5,953	31億849